

ヒクイナ Ruddy Crake または Ruddy-breasted Crake

あの特徴ある「キョッ、キョッ」という声の主はその姿をなかなか見せてくれないが、英名は和名と同様その「色」をとらえて“Ruddy”即ち「赤みがかった」「血色の良い」クイナとしている。“Ruddy-breasted Crake”とは「胸の赤いクイナ」という意味になる。

ホンコンの図鑑の漢字表記では「紅胸田鷄」であり、和名の「緋水鷄」より色のトーンがやや薄く感じられる。このトリの実際の色はそれほど鮮烈な赤ではなく、英名の「赤みがかった」くらいの感じである。

“Ruddy Crake”とすると中南米やコスタリカあたりのズグロコビトクイナとの混同があり得るので、ヒクイナとしてはむしろ“Ruddy-breasted Crake”をお勧めする。

なおクイナ類には“Crake”と“Rail”の英名があるが、一般的には“Rail”を総称的に用い、“Crake”は「主にヨーロッパ系の嘴の短い」クイナを指すことが多い。現にアメリカのクイナ類はすべて“Rail”である。唯一の例外はヨーロッパから入っていった Corn Crake (ウズラクイナ) だけである。

日本には下記のように“Rail”が3種、“Crake”が4種記録されている。

Water Rail	－ クイナ
Swinhoe’s yellow Rail	－ シマクイナ
Okinawa Rail	－ ヤンバルクイナ
Ruddy-breasted Crake	－ ヒクイナ
Baillon’s Crake	－ ヒメクイナ
White-browed Crake	－ マミジロクイナ
Banded Crake	－ オオクイナ
その他に	
Water Cock	－ ツルクイナ
White-breasted Water Hen	－ シロハラクイナ

最近ヤンバルクイナの人工孵化が成功したというニュースは実に明るいニュースであった。

大宮のハクトウワシ